千 葉 県 教 育 委 員 会 会 議 議 事 録

令和７年度第７回会議（定例会）

１　期　　日　　令和７年１０月１５日（水）　　開会　午前１０時３０分
　　閉会　午前１１時４２分

２　教育長及び出席委員
　教育長　杉野　可愛
　委　員　貞廣　斎子
　　花岡　伸和
　　永沢　佳純
　　芦澤　直太郎（オンライン）

３　出席職員

教育次長	井田　忠裕
教育次長	細川　義浩

企画管理部

企画管理部長	原　義明
学校危機管理監	鈴木　真一
県立高校統括監	伊澤　浩二
教育総務課長	鈴木　克之
教育政策課長	鈴木　孝明
教育政策課副参事兼高校改革推進室長	齋藤　俊介
財務課副課長	菊池　威士
教育施設課副技監兼大規模改修室長	細谷　秀男

教育振興部

教育振興部長	吉本　明広
教育振興部次長	赤池　正好
生涯学習課長	松村　賢一
生涯学習課副参事兼新県立図書館建設準備室長	奈良　伸一郎
教職員課長	和久　純
保健体育課長	佐藤　祐児
教職員課副参事	金親　秀樹
教職員課副参事兼任用室長	渡　繁伸

企画管理部

教育政策課高校改革推進室副主幹	鈴木　順
同　副主幹	岡松　敏江
財務課予算班長	髙木　優
教育施設課企画調整班長	石橋　正行

教育振興部

生涯学習課主幹兼社会教育振興室長	大和地章記

同　　社会教育施設班長　　角田　智之
同　　社会教育班主査　　吉田　隆修
同新県立図書館建設準備室副主査　　井浦　菜摘
同　　副主査　　近藤　悠斗
教職員課主席管理主事兼
特別支援学校人事班長　　伊藤　浩志
同　　管理主事　　椎津　奉典
教職員課任用室管理主事　　加藤　大地
教職員課主幹兼管理室長　　佐々木　恵
同　　主席管理主事　　青木　慎哉
同　　管理主事　　熊倉　理恵
同　　管理主事　　松中　康博
同　　管理主事　　萩原　拓也
保健体育課学校体育班長　　右﨑　英志
同　　高校総体準備班長　　齊藤　隆作

事務局
企画管理部教育総務課
主幹兼委員会室長　　山口　聖剛
同　　副主幹　　小合　基夫
同　　主査　　土屋　雄輝
同　　主査　　積田　さゆり

４　教育長開会宣告

千葉県教育委員会会議オンライン出席取扱要領に基づき、芦澤委員のオンライン出席を承認したので報告する。

５　署名人の指名　　貞廣　斎子　委員

６　令和７年度第６回千葉県教育委員会会議（定例会）議事録の承認

７　議題の宣告及び非公開の決定

本日の案件は、第３７号議案から第５２号議案までの議案１６件、第７号報告の報告議案１件、報告１及び報告２の報告２件である。第３９号議案から第４７号議案までは、教育委員会会議規則第１３条第１項第４号「知事又は議会に対する意見の申し出等」に該当することから、また、第４８号議案から第５２号議案まで及び第７号報告については、同規則同条同項第１号「任免、賞罰、人事」に該当することから、非公開により審議する。

８　進行役の指名

千葉県教育委員会会議規則第２７条の２の規定に基づき、ここからの進行を貞廣委員にお願いする。

９　審議事項

第３７号議案　　県立高校改革推進プラン・第２次実施プログラムについて

【教育政策課高校改革推進室長】
本件は、「県立高校改革推進プラン・第２次実施プログラム」を決定しようとするものである。５月２６日の教育委員会会議で、プログラム（案）を報告させていただいた。その後、６月から７月にかけて、統合対象校がある八千代市、船橋市、柏市において、県民説明会を、また、パブリックコメントや関係団体からの意見聴取などを実施し、広く県民から意見を伺ってきたところであり、これらを参考にして更なる検討を加えた。
今回のプログラムでは、９項目１５校の再編を示しており、文言修正はいくつかあるが、内容については、原案から大きな変更はない。決定していただいた場合には、各校に、その職員等から成る準備組織を立ち上げ、プログラムの実施に向けた準備を進め、一層魅力ある学校づくりを目指していく。なお、８月の教育委員会会議で議決いただいた令和８年度千葉県公立高等学校第１学年生徒募集定員については、統合が決定された場合を想定していたものであったが、こちらも変更はないため、改めて、県教育委員会のホームページで、その旨を公表する。

【花岡委員】
浦安市に設置された学びの多様化学校では、病気や経済的理由による入学は対象外である旨が明記されている。本プログラムにおいても、入学希望者に誤解を与えないよう、対象範囲や支援体制について明確な周知を行っていただきたい。

【教育政策課高校改革推進室長】
本プログラムでは、学びの多様化学校の理念や方向性を示している。今後は、令和１０年度の統合に向けて、９年度の生徒募集の際に、誤解を招かないよう、中学生や保護者等、県民に丁寧に周知を行っていく。

【芦澤委員】
人口減少が進む地域に所在する産業界でも、人材不足等多くの課題を抱えている。地元産業界との連携にも継続的に配慮していただきたい。なお、自治体の規模等に応じて、担当が、商工会議所と商工会に分かれる。両団体共に連携を進め、意見を伺うようにしていただきたい。

【貞廣教育長職務代理者】
第３７号議案について、可決したいがよろしいか。

【教育長・委員】
よい。

【貞廣教育長職務代理者】
第３７号議案は、原案どおり可決する。

第３８号議案　　千葉県子どもの読書活動推進計画（第五次）の策定について

【生涯学習課長】
国の「子どもの読書活動の推進に関する法律」に基づき、文部科学省は「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」を策定している。県では、文部科学省の計画を基に「千葉県子どもの読書活動推進計画」を第四次まで策定し、子供の読書活動の推進を図ってきた。第四次計画期間中には、学校図書館の整備が充実したこと、０歳児健診などの機会に絵本の配付や読み聞かせをするブックスタート事業から続く、おおむね３歳から小学校入学前の子供を対象としたセカンドブック事業を実施している市町村が増えてきたことなどの成果が見られた。一方で、不読率が文部科学省の目標とする数値までは達していないことや市町村の推進計画策定が

進んでいないことなどの課題も見られた。
　第四次計画の課題や国の第五次計画を踏まえるとともに、子供を取り巻く読書環境の変化や現状を鑑み、県においても第五次計画（案）を作成したところである。なお、作成に当たっては、「生涯学習審議会子どもの読書活動推進部会」や庁内に設置した「子どもの読書活動推進委員会」において、第五次計画（案）について検討を重ねるとともに、計画にはパブリックコメントの結果も反映させている。
　第五次計画の特色は「子どもの視点に立った読書活動の推進」である。「①子どもの意見聴取の機会の確保」の項目では、子供へのインタビューやアンケート等、様々な方法で子供の意見聴取の機会を確保し、多様な子供の意見を取組に反映させることについて記載した。また、「②子どもが主体となって実施する活動や協働的な活動の推進」の項目では、読書イベント等で子供たちが企画・運営する機会を検討することを記載した。
　次に、多様な子供たちの読書機会を確保するため、デジタル社会に対応した読書環境の整備として、電子書籍サービスの情報発信や図書館 DX 化への取組について記載した。これらの取組を通して、不読率の低減を図っていくよう努めていく。なお、県の推進計画は、すべての子供が本に親しみながら成長していくための「読書県『ちば』」を目指し、市町村において子供の読書活動推進計画を策定する際の指針となり、子供の読書活動を推進する担い手が、活動する際の手引きとして活用するものになる。
　また、概要版のリーフレットを作成し、子供の読書活動に携わる方々に参考としてもらえるよう、関係機関や学校等への配付及び会議や研修会での活用を考えている。

【花岡委員】
　参加しやすさへの配慮や多様な子供たちの読書機会の確保などの取組の情報提供を、福祉部門と連携していくという点は非常にありがたい。教育が取りこぼしている子供たちに、福祉を通して届けていくということを今後も進めていただきたい。

【永沢委員】
　以前、視察に行った学校の図書室がとても充実していた。その時期に流行していたアニメ等の原作をたくさん置いていたり、その時期に保健体育の授業で取り組んでいる種目に関する本を置いて子供たちが関心を持ちやすいようにし、読書をとおして学んだことを次の授業で実践してみたりするというような循環ができていて、貸出しの数が増えていた。子供たちが気軽に図書室に来室し、本を手に取りやすい環境整備をこれからもお願いしたい。

【生涯学習課長】
　読書バリアフリーを推進するために、リーフレットを作成し、図書館で配布するなどしている。図書館を利用しない方には福祉部門と連携を図り、情報を周知していく。学校での取組については、第五次計画（案）に学校等における取組としてまとめており、全校をあげての読書活動や図書委員等の活動などについて記載している。今後も読書活動の推進に積極的に取り組んでまいりたい。

【貞廣教育長職務代理者】
　第３８号議案について、可決したいがよろしいか。

【教育長・委員】
　よい。

【貞廣教育長職務代理者】
　第３８号議案は、原案どおり可決する。

報告１　　令和８年度（７年度実施）千葉県・千葉市公立学校教員採用候補者選考の結果について

【教職員課任用室長】
今年度の教員採用選考は７月に第１次、８月に第２次を実施し、９月３０日（火）午後１時に合格者を発表した。総募集人員約１，７００名に対し、４，２３２名の志願があり、合格者の総数は１，８００名となった。昨年度より、２３７名の減となっている。今年度新設した千の葉の先生養成塾生特別選考や幼稚園教諭特別選考から、多くの小学校の合格者を出すことができた。
今後も、熱意にあふれ、人間性豊かで、専門性の高い教員の確保に努めていく。

報告１は終了。

報告２　　令和７年度全国高等学校総合体育大会「開け未来の扉 中国総体 ２０２５」の結果について

【保健体育課長】
令和７年度の「全国高等学校総合体育大会」は、７月２３日から８月２０日まで、広島県、鳥取県、島根県、岡山県、山口県の中国５県と北海道、福島県、和歌山県で開催され、本県から、３０競技に６８校６７４名の選手が出場した。
団体４競技、個人１３種目で優勝し、優勝数は昨年度を上回る数となった。少林寺拳法男子団体演武の桜林高校、ハンドボール女子の昭和学院高校、体操女子跳馬の中央学院高校 菊池選手は２連覇を果たした。また、体操に出場した市立船橋高校高橋選手はつり輪と鉄棒で、陸上競技に出場した市川高校バログン選手は女子２００ｍと４００ｍの２種目で優勝を果たした。団体・個人を合わせて全体の成績は優勝１７、準優勝３、３位が２１、４位から８位までの入賞が５６で、合計の入賞数は９７だった。９月１０日に優勝した生徒と学校関係者が、県庁に報告に来た。
令和９年度には、千葉県を含む南関東ブロックで大会が開催される。千葉県では９競技が開催されるが、会場地となる９市町と連携を深めながら、地域の特色や高校生の創意工夫を活かした取組を通じて、千葉県らしい魅力ある大会となるよう準備を進めていく。

報告２は終了。

教育長報告　　令和７年９月定例県議会の概要について

【杉野教育長】
９月定例県議会（会期：９月５日から１０月３日）の概要について報告する。
はじめに、議案についてであるが、教育委員会関係は、議案第１号「令和７年度千葉県一般会計補正予算（第３号）」、議案第３０号「損害賠償の額の決定及び和解について」の２議案が審査され、原案どおり可決された。
次に、本会議における代表質問及び一般質問についてであるが、「教員不足の解消」に関する質問などが５５件あった。詳細は、「令和７年９月定例県議会「本会議」質問項目一覧表（教育関係）」のとおりである。このうち、主なものについて、その内容を報告する。
教育問題（教員不足の解消）について、「学校における働き方改革において、今後どのように取り組んでいくのか。」との質問には、「県教育委員会では、教員の負担軽減を図るため、学校への発出文書の削減や、デジタル技術による業務改善の支援、校務を補佐するスタッフなどの外部人材の配置を拡充しているところです。さらに、県立学校については、本年７月に、学校への外線電話にワンストップで対応する統一ダイヤルを開設したほか、夏季休業中の時差

出勤及び在宅勤務を試行するなど、新たな取組も進めています。今後は、これらの取組の効果検証を行うとともに、市町村教育委員会にも情報共有しながら、県全体で働き方改革をより一層推進し、教員が『働きやすさ』と『働きがい』を両立できる職場環境づくりに取り組んでまいります。」と答弁した。

次に、文教常任委員会における質問についてであるが、１０月３日の本会議において、文教常任委員会委員長より、審議状況について報告があった。詳細は「令和７年９月定例県議会文教常任委員会委員長報告」のとおりである。

委員報告　　ＮＴＴｅ-Ｓｐｏｒｔｓ高等学院への視察について

【花岡委員】

ＮＴＴｅ－Ｓｐｏｒｔｓ高等学院は、本年度の４月に開校し、現在１期２０名の生徒が、千葉駅から５分にある非常に通学には適したオフィスビルのワンフロアを使ったキャンパスで学んでいる。視察前は、生徒全員がｅスポーツのプロアスリートを目指していると勘違いしていたが、実際には、ゲームが好きという入口から将来設計をできるようなサポートを行っていた。具体的には、デジタル人材の育成をしており、ｅスポーツの業界でのプレーヤーではなく、サポートする側として働く人の人材育成もしている学校であった。通っている生徒たちの半数程度が不登校を経験している子供たちであるとのことだったが、生徒同士でコミュニケーションをよくとっていて、自分の好きなことを学んでいるという雰囲気であった。学校側が考えている課題としては、まだｅスポーツが単なる遊びとして捉えられていることや、家庭の中でゲーム漬けにならないようにするにはどうしたらよいかといったことへの対策が必要であるとの説明があった。しかし、実態としては、家庭で使用するパソコンよりも学校で使用できるパソコンの方が性能が高いため、自宅ではゲームをやらなくなる傾向の方が強くなり、生活自体は規則正しくなってくるというような説明もあった。ｅスポーツをやっても不健康にならないということがはっきり証明されてくれば、ｅスポーツもスポーツのひとつとして社会に認知されるのではないかと思ったし、学校側もそれを望んでいるとのことであった。個人的にも、ｅスポーツをスポーツ文化のひとつとして盛り上げていきたいという気持ちが強くなった視察であった。

＜傍聴・報道　退出＞

第３９号議案　　指定管理者の指定について
第４０号議案　　指定管理者の指定について
第４１号議案　　指定管理者の指定について
第４２号議案　　指定管理者の指定について

生涯学習課長の説明後、協議を行い、原案どおり可決した。

第４３号議案　　契約の締結について
第４４号議案　　契約の締結について

生涯学習課新県立図書館建設準備室長の説明後、協議を行い、原案どおり可決した。

第４５号議案　　契約の締結について
第４６号議案　　契約の締結について

教育施設課大規模改修室長の説明後、協議を行い、原案どおり可決した。

第４７号議案　　専決処分の申入れについて

教職員課長の説明後、協議を行い、原案どおり可決した。

第４８号議案　　職員の懲戒処分について

教職員課長の説明後、協議を行い、原案どおり可決した。

第４９号議案　　職員の懲戒処分について

教職員課長の説明後、協議を行い、原案どおり可決した。

第５０号議案　　職員の懲戒処分について

教職員課長の説明後、協議を行い、原案どおり可決した。

第５１号議案　　職員の懲戒処分について

教職員課長の説明後、協議を行い、原案どおり可決した。

第７号報告　　職員の懲戒処分について

教職員課長が説明を行った。

第５２号議案　　令和７年度教育功労者の決定について

教育総務課長の説明後、協議を行い、原案どおり可決した。

１０　教育長閉会宣告

令和７年１１月１８日　署名人